



常陸太田市立幸久幼稚園 0294-72-7006 園児数57名 令和元年11月29日

早いもので今年も残すところあとひと月となりました。子供たちは、寒さに負けず元気に園生活を送っています。また、発表会に向けて、意欲的に練習を進める姿が見られます。2学期の様々な経験が子供たち一人一人の成長につながっていることを実感しています。ご家庭でも我が子の成長を実感する場面が多くあるかと思います。そこで、今回は「家庭教育応援ナビ ～すくすく育て いばらきっ子～」より、常磐短期大学幼児教育保育学科の木村由希先生のコラム「どう褒める？」をご紹介します。

## 「どう褒める？」

最近お子さんのことを褒めたのはどんな時でしたか？

その時どんな言葉で褒めましたか？

大切なのは、褒めた言葉が子供の心にちゃんと響いているかということです。4～5歳頃になるといつも同じ褒め言葉では心が動かされなくなるようです。自分が本当に頑張ったと思うこと、上手にできたと思うこと…褒められるに値することを信頼する人から認められて、初めて喜びを感じるようになるのです。ですから、子供が何かに取り組んでいる時、「見て」と何かを持ってきた時、お手伝いをしてくれた時、我が子の頑張りやこだわり、取り組み方を丁寧に看取り、言葉にしてあげることが必要になってきます。我が子がこだわったところ、あきらめずに何度も何度も挑戦したところ、そのような部分を注意深く見て、言葉にしてみてください。そして、一緒に喜んでください。きっとそれが「心に響く」褒め言葉になるのだと思います。

ぜひ、世界に一つの褒め言葉を探しながら、日々のお子さんの成長する姿を見守ってあげてください。

## 12月の教育目標



《3歳児：すみれ組》

◎様々な活動に興味をもち、最後までやろうという気持ちをもつ。

《4歳児：たんぽぽ組》

◎自分なりの目的をもち、友達と表現したり、工夫して遊びを楽しんだりして意欲的に取り組む。

《5歳児：ひまわり組》

◎共通の目的に向かって取り組み、自分の力を発揮したり、友達のよさを認めたりして、やり遂げた満足感や充実感を味わう。

一部抜粋

⋮